



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢700名を達成しよう～

青年経営者会総会 開催！！

日時：5月14日(土) 19:00 会場：サンプリエール



会員13名、吉澤長崎浦上支部長、山口県例会委員長、峰事務局次長、そして広島同友会より3名、山口同友会より2名、福岡同友会(北九州青年懇話会)より5名の出席を賜りました。第一号議案から第三号議案まで滞りなく審議、承認され、無事に総会は終了いたしました。

今年度は会長に橋本裕次郎、副会長に安井忠行、幹事長に吉川裕也、会計に山崎晃、副会計に北川亮、会計監査に分部高、顧問に山口善也前会長、そして今期から新しい試みで部会も作り、例会部長に笹田健一、広報・増強部長に飛田精一、情報部長に植木博路、幹事は全会員という組織構成です。

青年経営者会という色をどんどん出して、若手経営



者がもっと集まって、会員増強や仕事、良い会社づくりが進められたらと思います。

また、山口善也前会長から進めてきた他県同友会青年部との交流が実を結び、今回も他県同友会青年部から10名もの皆様にご出席いただきました。懇親会では個人的に広島の川畑さんから広島同友会の活動内容や良いところ等を話していただき、「これからガンガンやらにゃいけんよ!」と檄をもらいました。

青経会員同士でガッツリ交流する、他県行事や青全交への参加、他団体との交流、それぞれの業績を上げていく等、やりたいことがたくさんあります。自分の仕事も頑張りながら、同友会でも学び、仕事に反映させていこうと思います。

目次

青年経営者会総会 開催報告	1	中同協刊行物案内	13
5月例会報告	2	事務局企業訪問	14
中同協九州・沖縄ブロック第10回支部長・支部役員研修交流会 参加報告	9	入会・交代会員紹介	15
長崎浦上支部 フォローアップ交流会 開催報告	11	7月例会案内	16
長崎ウエスレヤン大学 保護者会懇談会 参加報告	12	理事会議事録 抜粋	17
会員活躍	13	会員消息・会員数	18

ご出席いただいた来賓の皆様、ありがとうございます。
そして、青経を卒業された秋月徹雄さん、大久保誠さん、西村浩文さん、森宏幸さん、これまで本当

にありがとうございました。

(文責 橋本 裕次郎)



長崎浦上支部 例会報告

日 時	5月18日(水) 18:30
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	共に学び、共に育ちあう社風づくり
報 告 者	ニコット・サービス(有) 代表取締役 江口 陽一 会員(佐世保支部)



新生長崎浦上支部として初めての例会でした。

江口さんは、国鉄を退職後、土木会社に就職されました。この社長さんの姿勢に、独立後に大きく影響を受けられたそうです。そのエピソードのひとつとして、「もし社員が100万円の機械を壊したらどうしますか？」と皆さんに投げかけられました。

なんと江口さんは、入社2ヶ月目に、100万円の機材を壊されたそうです。その時社長さんは、「江口くんなら仕事で返してくれるやろ」と言われ、おとがめ無しだったそうです。それからというもの江口さんは、「この社長さんのためなら」と退職するまで、陰日向なく一生懸命に働かれたそうです。経営者の姿勢を問われているようで、皆さん真剣に考えておられました。また会社を退職する際は、仕事内容が会社とかぶるにもかかわらず、社長さんに正直に話され、許可をいただかれたそうです。実際独立のために退職されたのは、それから1年以上も経ってから。社長さんへの感謝の気持ちと、誠心誠意を尽くされてのことだった



のでしょう。そんな1本筋の通った、軸のぶれない生き方が、ニコット・サービスの現在の繁栄につながっていると確信しました。

独立後も、人や社員を大切にされていました。初めてのボーナス支給時の写真を保存されていて、その時の感動や社員への感謝の気持ちを忘れないという想いが伝わってきました。また、これまでいろんな方と出会われて感じておられることの一つに、「すごい人ほど謙虚」ということ。謙虚な姿勢の大切さを再確認できました。

後半では、一人一人の社員さんへ、会社への想いや、夢を聞かれて作られた動画を拝見しました。社員とのコミュニケーションをしっかりと取られていて、江口さんご自身の夢である、「運動会のできる会社」という明確な目標も近いうちに実現されるでしょう。

グループディスカッションでは、社員とどのようなコミュニケーションをとっているかが話題になり、各社独自の方法があり参考になりました。

懇親会では、オブザーバーの一人が入会を表明され、たいへん盛り上がりました。飾らない江口さんの

報告が、きっと皆さんのこれからの経営に生かされると信じています。

(文責 岩 素子)

長崎出島支部 例会報告

日 時	5月16日(月) 18:00
会 場	サンプリエール
テ ー マ	起業して15年 ～人との出会いで学んだこと～
報 告 者	暁建設 代表者 本多 邦暁 会員



本多さんは大学卒業後、土木・造園業を志望するも、内定を受けたのが営業職のみで、求人誌を片手に福岡へ出て「岡崎産業」という土木業の会社に御縁をいただきます。それから福岡での生活は昼間は現場での仕事をしながら、土日・夜の時間を使ってCADや土木施工管理技士など仕事に必要な知識の習得に励んでいました。

福岡へ出て3年目、長崎に帰省の際に、実家の近所の「森塚土木」の社長より「自分も高齢なんだが、この会社を継いでやってみないか？」との誘いがあったそうです。近所というだけで、この誘い。本多さんの人柄のよさ、日頃の人との関わり方の賜物と思います。いずれは長崎に戻ってこようという思い、また持ち前の素直さも後押しし、長崎に戻り森塚土木への就職を決めたそうです。更に3年が経ち、長崎・福岡での現場の自信、また社長の年齢もあり、27歳の時、当時の社員・顧客を引継ぎ「暁建設」を立ち上げました。

起業後、本多さんは銀行への融資依頼、見積の失敗(赤字工事)、資金繰り、人材の確保、売上の確保など、会社経営には現場知識以外にも色々なものが必要だったことを失敗を基に痛切に学びます。

失敗への答えが出ないままも、本多さんは誠実に一生懸命、日々の仕事をこなすことで、様々な面で親戚・



社員・お客様、周りの人が支えてくださり会社存続の危機を脱することができたそうです。

起業して15年、会社が安定してきた今、今後更に会社を安定的に継続するため、また、今後は逆に周りの人々を支えられるようになる為にも、様々な人から学びたいという思いから、同友会に入会されたということでした。

人との出会いに学びはあります。が、出会った人との関わり合い方(感謝、尊敬)でまた、その学びも変わるのでは?と考えさせられた実りある例会でした。

(文責 中原 一也)

大村支部 例会報告

日 時	5月19日(木) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「人の生命と財産を守る」使命を引き継いだ先にあるもの ～同友会に求めるもの～
報 告 者	(株)ナカムラ消防化学 代表取締役 中村 康祐 会員



ナカムラ消防化学は九州で唯一の消防自動車メーカー。特色は1台として同じ仕様の車両はなく、顧客である消防団や消防署の要望に応え、装備や機材の配置が異なる手作りであるということ。消防設備の設計・施工・保守や防災関連製品の開発・販売も行っている。

後発メーカーであるが故にオリジナルを強みに「思い立ったら即行動」で果敢に挑戦した先代社長。10年間の営業経験でスキルを磨いた上で、その強靱な経営体質と「人と財産を守る」という使命を託された現社長。経営者としての最終判断の重みや社員の生活とその家族への責任感から毎日がチャレンジという、先代の思いを引き継いだ先にあるものを語ってくれました。

紹介された同社の経営理念は「FOR THE BEST ONE」です。時には直面した問題により自社の魅力を自問自答することもあるとのことで、事業活動の基本的な考え方や方向性でもある「お客様のベスト(大切なもの)のために、そして自分たちにできるベストな業務(最善の努力)のために、私たちはチャレンジを続けます!」という力強い内容は、ぶれないための原点や判断基準でもあり、そして喜びをも感じるも



のでした。

そして、そういった思いを形にするために現在取り組んでいることが、「組織作り」と「見える化」であり、行動を始めたことで業務の効率化や社員の定着などで成果が表れ始めたとのことです。

経営者としての今後の課題(まさに引き継いだ先にあるもの)は、①5～10年先を見据えた計画、②社員のスキルアップへのバックアップ体制。財務戦略などの経営者としてのスキルを磨きながら、現場の声を消防車作りや関連業務および新商品化に反映して競合他社との差異化力をつけていき、そのような活動の中で社員一人ひとりのプロ意識を向上させてプロ集団を目指していきたいという力強い思いが伝わってきました。

最後の報告ページは、なんと「同友会に求めるもの」。経営指針の作成や人を生かす経営などを失敗例も交えて同友会活動で学びたいことも報告されました。今回のご本人の報告の中でも苦労したエピソードも話していただきましたが、成功例はもとより苦労したことや失敗例も聞けることは学びのスピードを早めることができるし、これぞ同友会だと改めて気づかされた例会でした。

また、先代社長を知る会員が多い中、「強烈な先代を超える日が近いと確信した」というまとめでの感想もあり、使命を引き継いだ報告者への熱いエールが響き渡った会場でもありました。

(文責 得田 稔)



新商品

長崎さるくマット

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

解体工事

の事なら、ご相談ください!!

<http://www.hirotani-kk.co.jp>

有限 廣谷環境開発 会社

〒854-0125 長崎県諫早市早見町1275-28

☎ 0957-28-0555



廣谷 慎也 会員 (諫早支部)

諫早支部 例会報告

日 時	5月18日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	きのうの経験を、あしたの個性に ～お客様に必要とされる会社を目指して～
報 告 者	荒木電器 荒木 亮 会員(島原支部)



家庭用電化製品が発達・流通していく時代に父が創業。地域住民の「困った」や「ニーズ」を地道に解決し続けて早40年。荒木電器二代目。1982年生まれの34歳。経営理念は、「お客様と共に『ひと』と共に」。

大学生時代に仲間と一緒に起業。バングラデシュに渡り、学び・吸収しその後、荒木電器へ。

気になる人や企業などがあれば、業種問わずに出向き接触のチャンスを作り、話を聞く。様々な問題・困難にぶつかったときは、同友会の先輩会員にヒント・アドバイスをいただくという荒木さん。常にアンテナ



を張り、その行動力がすばらしい、という皆さんからの意見も多くありました。

新サービスの電化製品レンタル・新商品のお試しレンタルなどにも取り組み、全国展開を目指しチャレンジされています。

人からの「学び」「縁」を大切にされ、行動する。正に理念である「お客様と共に『ひと』と共に」を実践されているすばらしい報告でした。

「他社にはない個性がありますか？」というテーマでのディスカッションでは、各社それぞれに個性があり、それを伸ばすように努力されている傾向を感じました。

テーマの中の「個性」そのものについてを討論されたところもあったようですが、なかなか実体のない何かを掴むようで難題でした。

(文責 張本 優子)

島原支部 例会報告

日 時	5月19日(木) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	経営指針書と経営理念の重要性を知ろう ～理念は経営者の熱い想いそのものだ！～
進 行	(有) 壽物産 代表取締役 永吉 誠 会員 アース建築デザイン長崎一級建築士事務所 代表者 横田 健 会員
報 告 者	(株) 荒木工務店 代表取締役 荒木 博 会員 Rose & Co 池田 知謙 会員 川上製麺 川上 貴弘 会員 GYARIRU 代表者 北尾 新 会員 (有) シキシマ 代表取締役 敷島 広太 会員 本多兄弟商会 本多 勝一郎 会員 (株) ヤマダ 代表取締役 山田 崇生 会員

今回の例会は、経営理念？ 経営指針？ 経営計画？ いろいろな経営に関する事がありますが、よく違いが分からないという意見が私を含め少なからずある中



で、まずは永吉経営労働委員長から「経営理念」とは、どういうものなのか？なぜ必要なのかを詳しくスライドで説明いただきました。

同友会の三つの目的、よい会社をつくろう・よい経営者になろう・よい経営環境をつくろう、の第一歩として「経営理念」を作る必要がある、皆で作しましょう。と、熱いお言葉から始まりました。また、「経営理念



の作成報告体験談」を経営理念を作り会社で活用されている7名のメンバーの皆さんに報告をいただきました。

・荒木博さん 「社員が共通の目的使命感を持ち、意欲的に仕事に取り組める環境を創りだす為。また人生が有意義なものに成るよう」

・池田知謙さん 「身体の外と中の両方から美と健康をサポートし、感謝されるお店を作ります」

・山田崇生さん 「ありがとう、その一言のため」

・敷島広太さん 「売上げや数字が良いというだけじゃなく、会社をとりまくすべての人が、いい会社だね、と思えそう言われるような会社を作りたい」

・北尾新さん 「みんなの笑顔のために私たちは、皆さんに喜んでもらう為に、笑顔を提供しあい、成長し続けます」

・本多勝一郎さん 「麺と人と地域社会をつくる」

・川上貴弘さん 「プロはお客様が期待される仕事をしてだけで満足してはいけない、期待通りは最低ラインにして常にそれ以上を求めるべき」

報告者それぞれの「理念」に込めた熱い想いや、作っ



てからの自分と周囲の環境の変化の報告を聞いて、自分の会社も「どげんかせんといかん」と思われた会員、オブザーバーの方も、かなりいらっしゃったと思います。

グループディスカッションも内容の濃いものとなり、懇親会の中でも参加者の方々は熱く話し合いをしていました。

まずは、「理念」を作ってみることの大切さと、それをもとにどう仕事や職場環境の改善に取り組むか、早急に取り組むべき事と感じました。

(文責 石松 稔朗)

佐世保支部 例会報告

日 時	5月20日(金) 19:00
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	同友会1年生でここまで出来た！ ～沢山の出会い、そして同友会で学んだこと～
報 告 者	村上彫刻 副代表 村上 敦子 会員



5月例会は「同友会を知る例会」として開催されました。報告者は入会歴1年の村上敦子さんです。報告は、入会前のご自身及び自社の状況からスタートし、入会



後同友会での学びを生かし、会社がどう変わっていったか時系列で語られました。折々の場面での学び、先輩会員のアドバイスなどで、自社の商品の改善や仕事の方法にも改善が加えられ、新商品開発まで話は及びます。

また、自分とは無縁と思っていた経営計画発表会にも、先輩会員の勧めに素直に従い、入会7ヶ月目で開催。その結果、入会前は低迷していた業績が好転し、社内の雰囲気も前向きになり、大きく変化したそうです。さらには、経営指針をベースに経営革新支援、ものづくり補助金、及び小規模事業者持続化補助金の申請にも取り組まれ、経営革新支援の申請に至っては、



みごと長崎県からの承認を勝ちとられました。これも先輩会員の助言がきっかけだったそうです。

今後も同友会で学びを深めることはもちろん、長崎同友会のスローガンにある「会員の要望相談に応えられる」人になるのが目標だそうです。また、職場環境においては女性が働き甲斐のある環境をつくり、且つ、障がいをもつ人の雇用にも取り組んでいきたいとのことでした。



村上さんの報告を通して最も強く感じるのは、彼女のスポンジのような吸収力です。それは、先入観なく人の意見を聞き、それをすぐに実践していく「行動力と素直さ」に裏打ちされています。今回の「同友会を知る例会」は、同友会での学び方をあらためて考える機会となりました。

(文責 山領 進)

北松浦支部 例会報告

日 時	5月20日(金) 18:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	今までの経営と、これからのビジョン ～何のために仕事をするのか～
報 告 者	(有)ワイエヌコンサル 代表取締役 横田 耕詞 会員(島原支部)



今回は、島原支部長の横田耕詞さんを報告者に迎え、座長に池田さんそして永吉誠さんと3名の島原支部会員の方に参加いただいたの例会でした。

横田さんは、小学生の時お父さんの影響で現在の土地家屋調査士を夢見られ、26歳で開業、27歳で25年カレンダーを作成し、書きこんだ計画を着実に実行され現在に至っておられます。

会社の将来は勿論・結婚時期・結婚する相手の職業(保母さん)・子供の数(これは、3人が5人になっちゃったようですが)・自社ビルを持つ年齢…この



様な計画をほぼその通り実現されており仰天する事ばかりでした。

若くして起業し、色々な勉強会に参加する事やお父さんの教えによって30代で「会社経営と社会貢献は表裏一体」、人生の理念「すべては次世代の子供たちの為に!」のもとに会社を安定的に多角経営され、人生を生きておられる素晴らしいお話をお聞きできた事は、本当に有意義な時間でした。もう少し若いときから、この様な勉強会に出席するべきだったと思ったのは私だけでは無かったと思います。

その後のグループディスカッションでも、皆さん、横田さんの話に感化され、様々な意見交換が各グループで活発に行われ、発表されました。

また、今回の報告でも触れられた25年カレンダーに皆さん興味津々でしたが、今回25年カレンダーをより使いやすく改良された20年カレンダーを無償(志は、熊本地震への寄付)配布いただき沢山の方が、何枚も持ち帰っておられました。皆さん、早速頭を悩



ませて記入されている事と思います。

その後、各委員会の報告が行われ、懇親会に移りました。懇親会は、新会員の野上さんをはじめ、普段めったにお会いできない方々とゆっくり色々な事



を語りあえた有意義な時間となりました。

(文責 松瀬 久一)

五島支部 例会報告

日 時	5月23日(月) 18:30
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	「激動の半生を振り返り…」会社経営の苦悩と努力 ～同友会との出会い・経営理念～
報 告 者	(有) もり塗装工業 取締役会長 森 勝昭 会員



五島支部初代支部長で現相談役の森勝昭さんは、若松島(五島列島の中程の島)で生まれ21歳で当時の福江市(現五島市)で職に就いたそうです。それから家電販売店や広告代理店で働いたり、焼鳥屋を経営してみたり、その他にも様々な職業を経て現在の総合塗装・防水業を起業されたそうです。

職を転々とされた経歴から現在の職を始めた時も「すぐにまた辞めてしまうだろう…」と周囲は冷やかだったそうです。そのような中でも売上を好調に伸ばし、起業して数年後には旧福江市の中でも業界トップの売上を上げるようになり、順調な経営だったそうです。そんな中、銀行の勧めもあり約束手形で資金繰りをするようになり、そのことで幾度かの危機がありました。それまでに培った実績や人脈



で、その危機を乗り切って現在に至るそうです。

五島支部立ち上げ時に、同友会という組織に触れてみて、経営について真剣に学んだことがないということに気づき、自身で経営理念を作ってみたそうです。今後はその経営理念を、昨年社長を譲った息子さんをはじめ社員まで浸透させるよう同友会での学びを続けながら日々の業務に取り組んでいくそうです。

今回、森さんの報告を聞いて様々なことへのチャレンジと、それを可能にするバイタリティが素晴らしい方だなと改めて思いました。その姿勢は業種や年齢を問わず、仕事をするすべての人に共通してなくてはならないものなのかもしれません。

(文責 勝本 政裕)

中同協 九州・沖縄ブロック第10回支部長・支部役員研修交流会 参加報告(第1弾)

「何のための同友会か？」を追求し、企業経営と同友会運動を不離一体のものとする」

開催日：5月26・27日(木・金) 会場：ホテルニューオータニ佐賀

<1日目>

●同友会運動と企業経営は不離一体

提起者：中村 高明 氏 中同協副会長 (株)紀之国屋 会長

●各県の事例報告

①企業づくり

長崎同友会 政策委員長 宮田 正一 氏 (株)ミヤタ 代表取締役専務

②地域づくり

福岡同友会 筑豊地区幹事長 有田 栄公 氏 有田電器情報システム(株) 代表取締役社長

③同友会づくり

沖縄同友会 副代表理事 真栄田 一郎 氏 マエダ電気工事(株) 代表取締役

<2日目>

●条例づくりで地域の未来を切り拓く ～教育と企業づくりを軸にして～

愛媛大学 法文学部 教授 和田 寿博 氏 (愛媛同友会会員)

NPO 法人家族支援フォーラム 理事長 米田 順哉 氏 (愛媛同友会会員)

愛媛県中小企業家同友会 専務理事 鎌田 哲雄 氏

長崎浦上支部長 吉澤 健

皆さんと同じように、例会に出席することで、学びを持ち帰っています。学びは自社で実践すること。社員さんに伝えること。経営者自身の気づきなど沢山持ち帰ることができます。今回は、次の三つを持ち帰り実践します。

- ・社員さんのニーズにこたえられる企業づくりを具体的に進める
- ・地域の各種団体を巻き込み、勉強会から取り組む中小企業振興基本条例
- ・交流の場だけではもったいない。一緒に学ぶ仲間づくり運動

事例報告のトップは、長崎同友会 宮田さんです。世の中の役に立つ会社を目指し、安心して働ける企業づくりに取り組まれています。多能工な社員さんを育て、自分の都合でも休める企業づくりを推進されています。これまで何度も宮田さんから学んでいます。やはり宮田さんは“うまかばい”！

福岡の有田さんからは、条例制定に関する勉強会を行政、商工会、商工会議所、農協、各種団体と一緒に実施したことで、行政とのパイプづくりが出来、行政から当てにされる同友会へと繋がっています。これは真似できそうです。

沖縄の真栄田さんから、増強がなぜ必要かを叩き込まれました。「交流の場だけではもったいないよ。同友会は経営者が学び続ける道場だよ」この声掛けは説



得力があります。沖縄の増強運動は素晴らしいです。ここも真似しようね。(^^)/

このように役員研修交流会は、企業づくり、仲間づくり、支部づくり、地域づくりを実践していくうえで良い学びとなりました。

沖縄の増強スローガン、「仲間づくりは幸せづくり～中小企業の発展は同友会活動から～」を推進することが、中村高明さん(中同協副会長)の問題提起、「同友会運動と企業経営は不離一体」を貫くこととなります。経営者の時間管理、権限移譲、責任者育成などの具体的事項に取り組むと、平屋から2階、3階建ての組織経営の実現が可能になると気づかされました。

佐世保支部 山本 正彦

中村さんの問題提起を受け、同友会の歴史が良く解り、経営者は従業員の幸せの為に日々努力を惜しまず経営理念を立て、会社を維持又は右肩上がりに邁進させる事が望ましいのだと感じました。

その後、「各県の事例報告」として3名の方より、「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」と同友会で学んだことを会社や地域で実践していく中での報告がありました。

長崎同友会の政策委員長の宮田さんの会社は女性が多いので子供さんの世話、親の世話等、社員さんが働けなくなった時の事を見据えて新人研修は6ヶ月行うそうです。それは誰かが急に休んでもその工程を衰退させない為、変わってその工程を行う事によって仕事のリスクも変わりなく行え、安心して休めるという社員さんの幸せに繋がっていくと言う事でした。

福岡同友会の筑豊地区幹事長の有田さんは地域社会に溶け込んで会社の業績を上げられたそうです。

沖縄同友会の副代表理事真栄田さんは沖縄独自の合言葉として「仲間づくりは幸せづくり中小企業の発展は同友会活動から。」を掲げられ会員増強に力を入ら



れています。

会社の発展は社員さんの目線に合わせ、経営者自身も変わることにより、維持できると思います。また、会員さん同士の連携で、風評被害を極力抑えられた熊本同友会の話と、有意義なそして大変勉強になった1日でした。これらを自社に取り入れ明日から実践してみようと思います。

また、今後も機会を見つけては、勉強会に参加したいと思います。佐賀同友会の皆さん、ありがとうございました。

事務局次長 峰 圭太

第1部の問題提起及び、3名からの報告を受け、グループディスカッションで学んだこととして、①継続しようとする風土をつくる ②風土をつくるために実践しなければならない ③実践することとしては経営指針である ④やはり経営指針が必要、という4点です。やはり経営指針を作成し、実践することで同友会の役員として一般の会員の方や今後入会いただく経営者の方に実践している背中を見せ、「よい経営者」としての理想像が出来上がるのだと感じました。事務局理念と行動指針を作成して1年が経過し、会員の方へは「実践が大切です」と言いながらも、事務局行動指針の実践はまだまだだと痛感しました。1年間の局員の目標を共有し、発表することで各局員の到達点を図ることができるよう、今後事務局会議を通して企画することを決意できた1日目でした。

2日目は中小企業振興基本条例についてあらためてその意義を学ぶことができました。条例制定運動は制定することが目的ではなく、あくまでも入り口であること。そして人を生かす経営の総合実践を目指す同友会にとって条例こそが同友会運動の最高の到達点であるという考えは、今まで政策委員会の範疇という先入観を払拭させ、会全体の運動として取り組む必要性があるという気づきをいただくことができました。「会員企業・地域の発展のために行動する」という事務局

理念のもと、今回いただいた気づきや学びは確実な成果となるよう事務局も運動の担い手としての自覚を持たなければならないと感じました。

今回、長崎からは30名に届く出席をいただきました。各支部の役員の方が自社に、自支部に今回の学びを還元いただき、自社のみならず地域や支部の活性化を心から願います。



1日目、中同協 中村副会長から問題提起があり、「支部長・支部役員の役割」について分かりやすく簡潔にお話しいただきました。そのなかで「困った時には自主・民主・連帯の精神に立ち返る」という話があり、基本に立ち返る大切さを改めて学びました。

次に事例報告として、長崎同友会の宮田さんからは、社員へ毎年面談を行い、年に2回のアンケートを実施、最初は綺麗言しか出てこなかったことが継続することで本音が引き出せたこと。福岡同友会の有田さんからは、不透明感の中で中小企業振興基本条例制定運動に取り組んできたが、継続することで行政との関係づくりができ、アポを取ることが容易に、また行政や他団体からも相談や頼られる存在になったということ。そして沖縄同友会の真栄田さんからは、同友会は経営を勉強する道場、経営は生物であり、学び続けなければならない。そして一緒に学ぶ仲間が増えれば地域の発展につながるといった言葉が印象的でした。

グループディスカッションでは、同友会で役を受けた時に忙しくなったことをきっかけに、社員に少しずつ仕事・権限を任せていった。そして自分の考え・ビジョンをしっかりと伝えるために経営指針書を作った

結果、社長不在でも会社が回り、社員が自主的に動く組織づくりにつながったという話から経営指針書を作成することと社員に浸透させることの大切さを確認しました。

また、同友会活動においては支部の方針がしっかりと役員に伝わっているか確認をしているかということから、自社の経営指針であればきちんと見直して浸透しているか確認をするはず、それと同様に支部の方針についてもきちんと伝わっているかのPDCAをしっかりと行う必要があるということでグループの意見がまとまりました。

2日目は条例に関しての報告でしたが、これまで条例づくりの大切さは感じていたものの、同時に難しいものと思っていました。しかし「教育と企業づくり」という軸での具体的な実践報告をいただくことで、改めて条例の重要性を知り、事務局として携われること・実践しなければならないことを学ぶことができました。

同友会運動の延長に条例づくりがあり、条例づくりは同友会運動の理論的実践の最高の到達点であるということをしかりと胸に刻み、事務局として同友会運動に携わっていきます。今回は参加の機会をいただき、ありがとうございました。

長崎浦上支部 フォローアップ交流会 開催報告

開催日：5月21日(土) 18:00 会場：プライムステージ



この度、長崎浦上支部では「フォローアップ交流会」を、「同友会のことを知ってもらおう」、「会員のことを知ってもらおう」ということで、自己紹介・自社のアピール(チラシ持ち込み可)・名刺交換会・悩み相談会など普段の例会等では出来ないような内容で親睦を深めたいとの思いで開催いたしました。

参加者は17名と少なめでしたが、入会歴3年未満の方が3名、オブザーバーが1名、久しぶりに会に参加された方が数名おられました。

最初は少ないと思いますが、実にちょうどいい人数



で、一人一人にじっくりと会社のアピールやイベントの告知、同友会への思いなどの話をしてもらうことが出来ました。

また、今後のフォローアップ委員会の活動についての意見や要望なども出て「今後も期待しているよ」との言葉をいただくことが出来ました。

また、第2部として懇親会をイナカヤ食堂にて行いましたが、全員に参加していただき、この場でも同友会の会員同士だからこそその相談などがあり、楽しくも学び多き交流会とすることができました。

参加してくださった皆様、たいへんにありがとうございました。

参加者：池田義徳・一ノ瀬卓・植松重則・内山洋二・中村政次・橋本裕次郎・宮崎泰幸・安井忠行・山口輝昭・山口善也・吉澤健・和田みどり

オブザーバー：加悦良康・事務局 山田幸司

＜フォローアップ委員会＞
山崎晃・山崎功・飛田精一

（文責 飛田 精一）

長崎ウエスレヤン大学 保護者会懇談会 参加報告

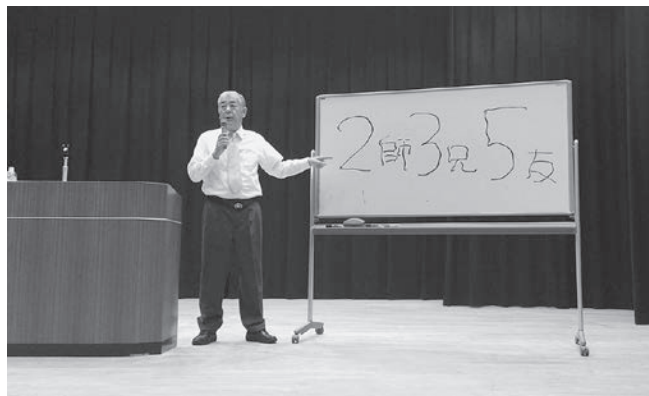


諫早支部産学連携委員会の今期活動第1弾として、5月21日、ウエスレヤン大学の保護者会懇談会にて、諫早支部相談役の諫早スイミング 平湯湧一さんが保護者を対象に「あなたが変われば、子供が変わる」というテーマでお話されました。

まず初めに、「人間は強いと思いますか？それとも弱いと思いますか？」という問いかけから始まり、その後、自身の過去の体験を交えながら社員さんに対する考えが変わったことなど話されました。諫早スイミングを引き継がれた当初、以前、男社会でやってきたやり方や感覚で社員と接していたら、社員に立て続けに辞表を出されたそうです。

このままではいけないと感じられた平湯さんは、社員にもっと目を向けようと積極的に社員と接するようになりました。現在では、社員一人一人と個人面談などを実施し、長いときには3時間も一対一でお話されるそうです。会社のこと、家族のことなど、プライベートな事までじっくり話をすることで、社員との信頼関係を築かれているそうです。

社員との信頼関係を築くことがいかに大事か、それは家庭でも同じことです。普段、子供と充分に会話が出来ているのか、何気ない話でも会話をする事で、今、子供が何を考え、感じているのかを感じ取ること



が出来ます。普段の会話、コミュニケーションがいかに大切かを気付かされました。

社長の姿を社員が見ているように、子供もまた親の姿を見ているのです。親がいかにして子供と接するか、それにより子供の成長に大きな影響を与える事に改めて気付かされました。

最後に、子育てに限らず、物事を判断する時の基準として、「損か、得か」で判断するのではなく、「正しいか、間違っているか」又は「自然か、不自然か」で判断することがいかに大切である事も学ばせていただきました。

今回、私は同友会の会員として参加させていただきましたが、子を持つ一人の親としての立場でも、改めて子供への接し方を考え直すきっかけとなりました。今回参加された保護者の皆様方も、同じように感じられたのではないのでしょうか。

（文責 諫早支部 産学連携委員長 廣谷 慎也）

結婚披露宴・祝賀会・同窓会・ご法要
歓送迎会・講演会など御利用下さいませ

政府登録(688)

諫早観光ホテル

道具屋

〒854-0004

長崎県諫早市金谷町8-7

TEL 0957-22-3360 FAX 0957-22-3363



藤原 貞明 会員（諫早支部）

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

会員活躍

長崎新聞 5月24日

長崎新聞 5月18日

佐世保支部 森 一馬 会員

経営の在り方学ぶ

同友会佐世保支部が例会

地場企業の代表らでつくる県中小企業家同友会佐世保支部（尾崎彰宣支部長、会員123人）の例会が20日、佐世保市内であり、約90人が経営の在り方について理解を深めた。会では、銘板製作を手掛ける村上彫刻（同市日野町）の村上敦子副代表が、毎月の例会で顔を合わせる会員

に、会社経営や営業のこつなど「さまざまなことを教えてもらっている」と報告。会員同士の横のつながりが、骨つばに名前を刻印する新サービスにつながったと紹介した。グループディスカッションもあり、参加者が各社の取り組みなどについて情報交換した。（中島宙）



長崎県中小
会員が自社の事業内容について報告した佐世保支部例会＝佐世保市花園町、市民会館

長崎新聞 5月27日 大村支部 富永 栄一郎 会員

富建の木材加工工場稼働始める

東彼波佐見町富建（大村市 富永栄一郎社長）が、東彼波佐見町三根郷の町営赤木工業団地に建設していた木材のプレカット工場が完成し、稼働を始めた。第1期事業として、約1・4畝の敷地に平屋の工場（2千平方メートル）と事務所、倉庫棟、作業棟を建設。総事業費は約6億8千万円。今後5年をめどに、事務所プレカットは、3次元のコンピュータ利用設計システム（CAD）などを用いて、柱や梁と、前もって必要寸法や形に加工すること。新工場には最新鋭の機械を導入し、作業効率の向上に加え、特殊な加工も可能にした。将来的に、高速道路のインターチェンジに近い立地を生かし、木材だけでなく、サッシや瓦な



建設関係者に披露された富建の木材プレカット工場＝東彼波町

「社業について。野球・ソフトボールを中心にスポーツ用品を販売しています。1976年に地域のスポーツ店として東彼波佐見町で創業し、91年法人化。2003年に佐世保店、08年に長崎店をオープンし、15年6月には福岡市に県外初出店するなど販路を拡大しています。」

ハスポ代表取締役社長

もり 森 かず ま 一馬さん(37)



競技力の「付加価値」も

する職人を置き、プロ選手から依頼が来ることもあります。福岡店ではアシックス社と協力し、バットのスイング速度から飛距離を推定できる機器をスポーツ店としては全国で初めて導入しました。今後こうした競技力向上や、顧客がもっと競技を好きになるような取り組みで大型店との差別化を図り、販路拡大、新事業参入を目指します。

株式会社ハスポ(佐世保市) 佐世保店(同市山県町)、長崎店(長崎市御船蔵町)、福岡店(福岡市東区)、波佐見店(東彼波佐見町折敷郷)の4店舗展開。通販も手掛け、6月からは楽天市場に出店予定。従業員23人。

～中同協刊行物案内～

※お求めは同友会事務局まで

書 名	内 容	判・ページ	頒 価
21世紀型企業づくりの決め手 経営指針作成の手引き	同友会らしい経営指針の確立。成文化の進め方	A5・64 ページ	400 円
人を活かす経営 中小企業における労使関係の見解	中同協『中小企業における労使見解』、『労使見解』の今日的意識	A5・47 ページ	300 円
同友会がよくわかる	中小企業家同友会の生い立ち、理念、活動をやさしく解説	A5・44 ページ	300 円
同友会運動の発展のために	『同友会理念について』『同友会の活動と運営』etc	A4・64 ページ	600 円
同友会運動の歴史と理念	運動の前史・会の誕生と全国組織の確立・理念形成と活動の基礎づくり etc	A5・62 ページ	500 円
幸せの見える社会づくり	一人ひとりの経営の現場から『中小企業憲章』制定へ	A5・270 ページ	1,800 円
人間尊重経営を深める 私と「自主・民主・連帯」④	中同協 前顧問 赤石義博さんの、労使の信頼を築き、全社一丸体制をつくってきた道	A5・245 ページ	1,300 円
「人間の尊厳」と中小企業 私と「自主・民主・連帯」⑤	中同協 前顧問 赤石義博さんより、人間らしく生きあう社会へ、中小企業のあり方や理念の深まりを提起	A5・269 ページ	1,600 円
企業変革支援プログラム ステップ1	自社の成長発展を図るものさしとして使えるようまとめ上げたもの。	A4・65 ページ	1,000 円
企業変革支援プログラム ステップ2		A4・169 ページ	3,000 円

事務局企業訪問

南島原市深江町に店舗・工場を構える島原支部 敷島広太さんにお話を伺いました。



(有)シキシマは1958年にしきしま蒲鉾店として、お父様が創業。豊富な漁場に恵まれた長崎沿岸の新鮮な魚を主原料に雲仙山麓・島原の水を使って、御影石の石臼と杵で丹念に練り上げる昔ながらの製法で蒲鉾を製造、卸・販売をしており、島原半島内の小売店をはじめ、大阪や東京の市場にも卸しています。

敷島さんは深江町で生まれ、子供の頃から家業を手伝っていましたが、手伝いが忙しく将来は蒲鉾屋にはなりたくない、自分の子供に同じ思いはさせたくないと思っていました。しかし高校生になった頃、普通のサラリーマンよりも稼いだら稼いだ分だけ収入になる家業の方がやりがいがあると思うようになり、高校卒業と同時に(有)シキシマに入社します。

入社後は販路拡大や新たな工場店舗建設と順調かと思いきや、兄の巨額借金問題が浮上し顧問税理士の勧めもあり事業の承継が若くして突然に行われました。何の準備もない承継でしたが、元から家業を継ぐという心構えがあったこと、敷島さん自身がすることは普段と何も変わらなかったことから承継は大変ではなく、むしろいろいろと自由に決めることが増えたと語られました。

<同友会との出会い>

同友会との出会いはオブザーバーとして参加した例会で、平湯湧一さん(諫早支部)の報告を聞いたことでした。その後も何度か例会に参加、さらには入会前に全国大会にも参加をして入会を決意されたそうです。入会した当時のことを「例会に行くと元気になって明日から頑張ろうと思えるようになった」と語られました。また当時は諫早島原支部の所属で例会会場は諫早と遠かったのですが、島原の仲間と一緒に例会に行く道中も様々な話をするのができ、楽しかったと振り返ります。

返ります。

<経営指針書の策定>

敷島さんは入会した年に福岡の経営計画書作成セミナーに参加します。そして同年には経営計画発表会も行いました。ここで理念を作成したことによって、社員の方から「会社の方針が分かり、迷うことがなくなり働きやすくなった」と言われ、理念(経営指針)を作成して良かったと感じ、また経営指針書の大切さを知ることができました。

<これから>

時代の流れで、冠婚葬祭のスタイルや食生活の変化に加えて、高齢化・人口減の影響もあり、蒲鉾の消費量も減っているそうです。そこで来年建設予定の工場店舗には見学スペースを設け、バスの乗り入れも可能にすることで、蒲鉾の製造過程を見学し、実際に蒲鉾を作る体験事業を展開します。子供だけでなく大人にも外からきてもらえるようにし、卸ではなく直売の比率を高めたいと考えています。現状認識を怠らず環境変化に合わせた敷島さんの経営戦略から、同友会での学びを実践されている姿を垣間見ることができました。

今回は長時間にわたるインタビューに快く応じていただき、ありがとうございました。取材の際に島原地方の名産である豆腐蒲鉾をごちそうになりました。これはすり身に自家製の豆腐を混ぜ合わせて作られたもので、普通の蒲鉾に比べ、ほそっとした柔らかい触感、優しい味わいでいくらかでも食べられるような一品です。ぜひ、皆さんもお試し下さい。

これからの敷島さんの同友会活動・本業ともにさらなるご活躍を祈念いたします。



<(有)シキシマ>

「経営理念」

かまぼこ造りを通して社会の食生活と健康に寄与し
会社に関わるすべての人を幸せにします

〒859-1501 南島原市深江町甲121

電話：0957-72-2142 FAX：0957-72-2408

<http://www.shikikama.com>

(文責 事務局 田口 友廣)



新入会員の皆さんです<5月入会・交代>

(敬称略)

<入 会>

支 部 名	島原支部			
氏 名	はやしだ もとひろ 林田 元博			
企 業 名	炉ばた 大和			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 859-2212 南島原市西有家町須川1660			
T E L	0957-82-0079	F A X		
業 種	飲食業			
企 業 P R	南島原の中心から“コト”を発信します！			
スポンサー	横田 耕詞			

支 部 名	島原支部			
氏 名	みやがわ たかあき 宮川 孝昭			
企 業 名	(同)MKインターナショナル			
役 職 名	代表社員			
企 業 住 所	〒855-0807 島原市白土町1085-1			
T E L	090-8664-2339	F A X	050-3512-7755	
業 種	ITコンサルティング			
企 業 P R	私たちが提供するサービスは、ネットビジネスの起業を志している人々を支援することです。ネットビジネスの企画から運用までを一元的にサポートすることができます。動画や音楽のメディア媒体を利用したEマーケティングを得意としています。この事業の取り組みを「商売繁盛工房」と名付けて、お客様のご商売をIT技術の面から支えていきます。 E-mail : cyberport@outlook.jp URL : http://cyberport.web.fc2.com/			
スポンサー	横田 耕詞			

<交 代>

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	たましま けんじ 玉島 健二			
企 業 名	長崎女子短期大学			
役 職 名	学長			
企 業 住 所	〒850-8512 長崎市弥生町19-1			
T E L	095-826-5344	F A X	095-826-4772	
業 種	教育・学習支援業			
企 業 P R	2016年度は短大創立50周年を迎えています。生活創造学科と幼児教育学科を有する県南唯一の短期大学です。			
前 会 員	浦川 末子			

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	まえだ しん 前田 慎			
企 業 名	リコージャパン(株) 長崎支社			
役 職 名	所長			
企 業 住 所	〒852-8131 長崎市文教町11-5			
T E L	095-843-9100	F A X	095-843-9120	
業 種	OA機器販売			
企 業 P R	オフィス内のOA機器、各種コンサル、空間コーディネート(備品販売)、システム構築などを手掛けております。又、オフィス内だけではなく、工場等の照明、電力販売、空調販売の実績も多数あります。私達リコージャパンは、お客様への価値提供を目指した、顧客満足度No.1を目指しております。是非お困り事、ご要望があればご相談下さい。			
前 会 員	宮崎 陽喜			

+++++

+++++

7 月例会案内

●長崎浦上支部

日 時 7月21日(木) 18:30
会 場 ギャラリーヘキサ
テ — マ お客様の喜びを「花」に込めて21年
報 告 者 ハートリーフH20 代表者
栗崎 貴子 会員

学生時代から喫茶店でバイト、化粧品会社、結婚を機に神戸に移り子育て、ヤクルトレディ、震災を経験の後、兄弟の縁で「花ビジネス」に出会い長崎に戻る。常に「今が天職」、寒い・暑い夜の路店から従業員が働きやすい環境を求めてショッピングモールへ出店するもなかなか思いは伝わらず。人材育成の難しさを痛感する日々。今一度原点に戻るべきなのか？ 過去、現在、未来について報告いただきます。

●長崎出島支部

日 時 7月20日(水) 18:00
会 場 サンプリエール
テ — マ 未来につなげる新事業への取り組み
報 告 者 (有)菅原産業 広報・企画部長
菅原 千代枝 会員

●大村支部

日 時 7月21日(木) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
内 容 大村市長によるご講演予定

●諫早支部

日 時 7月20日(水) 18:30
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ — マ 経営体験報告
会員は辞書の1ページです。第6弾
報 告 者 (有)タムラクレーン
池田 和貴 会員
(有)溝上電気工事 取締役副社長
溝上 優作 会員

●島原支部

日 時 7月25日(月) 19:00
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 150年の歴史から見えるビジネスの原点
～郷土愛、地元愛、人間愛～
報 告 者 (資)いろはや 代表取締役
中山 実津雄 会員

創業1856年。江戸時代から平成へと時代がうつる中、地域に根付いた経営でレディースアパレル小売業を営む5代目店主です。地元の高校を卒業し、東京へ上京。学生時代は海外への一人旅で主にアジア各国を周遊。その後上海市華東師範大学に留学。漢語修士取得。そのキャリアを生かして神戸と東京での貿易・アパレルの営業職に携わる。その後2001年に島原に戻り(資)いろはや勤務。その後、事業継承し現在に至る。地元で3店舗経営を続けながら、2008年長崎市のみらい長崎ココウォークがオープンすると同時に出店。現在島原市商店街に2店舗、島原市郊外に1店舗、長崎市みらい長崎ココウォークに1店舗の合計4店舗、アパレル小売業を経営。「スタッフは宝」の思いを胸に『人がブランド』という考えのもとに「進化する老舗」として日々業務に取り組んでいる。

●佐世保支部

日 時 未定
会 場 未定
内 容 未定

●北松浦支部

日 時 7月21日(木) 18:30
会 場 サンパーク吉井
テ — マ 中小企業経営者としての10年を振り返る
創業期から成長期への経営者としての意識の変化
報 告 者 税理士法人ウィズラン 代表社員
木竹 広賢 会員(佐世保支部)

報告者の木竹広賢さんは、平成19年1月に税理士事務所を開業し現在10年目を迎えています。現在は、ウィズラングループとして、税務会計部門、経営コンサル部門、行政書士部門、社会保険労務士部門、IT活用部門など総勢30名で中小企業の経営をサポートしています。今回の報告では、木竹さんが開業から現在までの10年を振り返り自身の経営者としての意識や視点がどのように変化してきたのかについて報告をしていただきます。開業から、徐々に規模が拡大していく中で、経営者として各段階に応じどのような視点で経営を行い、どのような行動をしてきたのか？そして、今後はどのような視点で経営を行っていくのか、中小企業の経営者にとっては興味深い報告となります。

●五島支部

日 時 7月20日(水) 18:30
会 場 未定
内 容 未定

●青年経営者会

日 時 7月25日(月) 19:00
会 場 未定
内 容 交流例会

●女性部会・障がい者問題担当委員会 第5回例会

日 時 7月19日(火)
18:00～名刺交換タイム
18:30～例会
会 場 食楽亭
テ — マ 諫早のうなぎで男は働きもん 女はスッポンで
きれかねえ ～素敵な笑顔と出会いに感謝～
報 告 者 食楽亭 女将
土井 美恵 会員(諫早支部)

大学卒業後、小さいころからの夢である幼稚園教員として諫早市内に勤務。たくさんの子供達に囲まれ充実した生活の中御縁があり、平成8年「割烹料亭 食楽亭」に嫁ぐ。商売とはかけ離れた環境の中で育った為、何もかもが一変！！翌年には長女を授かり、女将として、母親として、女性として奮闘…そんな中、地域活性と料理屋として生き残りの為、絶対に無理だと大反対されたスッポンのデザート作りを決行。その制作段階がずかずかのつまずきと喜びが現在の「めしませこらーげんゼリー」を産むこととなる。県新作展最優秀賞受賞し、現在では料理屋こだわりのデザートとして全国に届けられています。

6月理事会 議事録 抜粋

6月2日(木) つくば倶楽部

※理事会開催前に公正取引委員会の説明会を開催
「公正取引委員会の活動状況について」

開会挨拶－松尾代表理事

九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会に参加された皆様、たいへんお疲れ様でした。非常に濃い内容でした。次回開催地(大村)の担当ということで、「二日間のまとめ」を発表させていただきましたが、熊本・大分同友会の皆さんがたいへんな状況の中、参加されていましたので、私たちももっともっと応援しなければと強く決意しました。自粛を自粛し、経済を活性化するために、私たちも活発に活動して参りましょう。

仲間づくりについて

－入会3名・退会2名・交代1名を承認

西山仲間づくり委員長総括

九州・沖縄ブロック支部長・支部役員会で、企業経営と同友会運動は不離一体であるということを学びました。沖縄同友会は「仲間づくりは幸せづくり～中小企業の発展は同友会運動から～」をスローガンに取り組み、毎回このスローガンの唱和から委員会を始めているそうです。仲間づくり委員会で、各支部例会をキャラバンさせていただき、委員会の熱い思いを、また、役員の皆さんだけでなく、会員の皆さんに仲間づくりの楽しさを伝えたいと思っています。「毎日が仲間づくり」で皆さんよろしくお願いします。

協議・承認事項

1)第23回経営フォーラムについて

－大塚経営フォーラム実行委員長

10月6日(木)シーハットおおむら、記念講演－法政大学坂本光司氏、4分科会、懇親会はパークベルズ
テーマ案 「長崎の明日(みらい)を切り拓くのは、人を生かす経営の実践だ!!」

(今回提案事項)

・第1分科会報告者(経営戦略)…熊本同友会 副代表理事(株)美創 田中 芳和 氏－承認

	第1分科会 (経営戦略)	第2分科会 (社員共育)	第3分科会 (障がい者雇用)	第4分科会 (経営指針)※
報告者	熊本同友会 田中 芳和 会員	長崎出島支部 土井 幸喜 会員	大村支部 宮田 正一 会員 きらく大村 丸山 和美 氏	大村支部 徳田 信義 会員
座長			長崎出島支部 中村 正 会員	
室長	大村支部 竹中 会員	大村支部 吉尾 会員	大村支部 北村 会員	大村支部 出口博 会員

・座長・室長を承認

※見学分科会

・各支部動員目標数－下記を承認

支部	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	35	35	65	52	38	45	25	5	300

・キャラバン日程

7/20(諫早)、7/22(佐世保)、8/17(長崎出島)、8/19(五島)、8/24(長崎浦上)、9/12(島原)、9/15(北松浦)

五島支部は4名ですが、その他の支部は6名以上でお伺いする計画を立てています。ご理解・ご協力の程よろしくお願いします。

2)例会委員会からの提案(県例会委員会開催時の交通費・懇親会費の補助対応依頼)について

※承認事項－最大113,000円の補助

(163,000円の依頼の内、50,000円は委員会費で対応)を特別活動費で対応

3)役員研修会について－三役会案を承認

(三役会案)

9月10日(土)、会場を諫早観光ホテル道具屋、13:00～、懇親会はレストラン

内容・報告者－①同友会の歴史と理念 ②企業内実践と企業づくり…金井副代表理事 ③それらを受けて総括と役員の役割・同友会の組織づくり…松尾代表理事

4)同友会リーフレットの件－三役会案を承認

(三役会案)

5,000部作成(科目は印刷費)。デザイン料に関しては継続して交渉する

松尾代表理事

毎月、例会で配布しますので、必ず持ち帰り、一緒に学び合いたい方に渡して誘ってください。有効に活用願います。

貴方なら行ける、誰よりも遠くへ。免許を取ったらボートに乗ろう!!

【国家試験免除】2級小型船舶操縦士免許教室のご案内

H28年	長崎教室		佐世保教室	
	学科	実技	学科	実技
7月	2(土)・3(日)	5(火)・6(水)	9(土)・10(日)	11(月)・12(火)
	14(木)・15(金)	23(土)・24(日)	21(木)・22(金)	23(土)・24(日)
8月	6(土)・7(日)	9(火)・10(水)	13(土)・14(日)	15(月)・16(火)
	18(木)・19(金)	27(土)・28(日)	25(木)・26(金)	27(土)・28(日)

学科講習2日間、実技講習4時間の講習で取得できます。

時津町久留里(株)ヤマハマリン西九州

090-7355-8201
長崎浦上支部 吉澤 健

5)長崎留学生支援センターからの名義後援(無料)依頼について-※名義後援を承認
7月4日(月) 長崎商工会議所「留学生『人財』活用を通じた具体的な海外ビジネス展開セミナー」

報告・連絡事項

1)5月県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)

-山口例会委員長

各支部例会委員長さんだけの頑張りではなかなか難しいと思います。支部役員の皆さんの協力が必要です。以前私も「いちいち電話するなんてナンセンス」と言われながらも電話をかけ続けました。しかし、電話することで、返信率・出席率が向上するのは事実です。「必ず自分で返信するからもう電話しないで欲しい」と言われるまで電話し続けたいと思います。お互いの“声かけ”をぜひよろしくお願いします。

3)中同協 主要行事の紹介

4)長崎新聞社5月例会参加状況(長崎浦上支部、大村支部、佐世保支部、五島支部)

各支部長より一言

・出前講座等取り組んでいただけることを教えていただきました。

・グループディスカッションでも積極的に意見を言われていたのが印象的でした。懇親会にも参加されていました。

・例会の様子を新聞に掲載していただきました。

・同友会さんは本当にいい活動をしていますねと言われました。

5)5月19日(木)地方創生に活かす地域経済構造分析講演会参加報告-広報誌を参照願います。

6)5月26・27日(木・金)九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会参加報告-広報誌を参照願います。

7)熊本地震義援金の件-5月末現在 508,637円(全国では47,644,593円)
皆様のご協力に感謝申し上げます。

8)継続協議事項の進捗に関して

→県行事の在り方等に関して三役会で検討中。着席バイキングにて食事タイムを設ける等協議中。また名刺広告の在り方についても継続して協議中

・総会参加費(総会のみの場合は無料、懇親会費は懇親会参加者のみ負担)についても収支のシミュレーション等を行い、検討していきます。

9)会費3ヶ月滞納者について-なし

留意事項

1)2017年 中同協役員研修会について-5月開催予定。今後は代表者会議で進捗を協議する

→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)

2)2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について
ニュー長…立食1000名、椅子800名、

分科会対応約5室

ベストウエスタン…立食1000名、椅子900名、

分科会対応最大6室

※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも
全国大会開催可能

→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)

※実行委員長の検討開始

閉会あいさつ-金井副代表理事

公正取引委員会の説明会も行われたせいか、非常に中身の濃い理事会だったと思います。各組織活発にまた新たな活動にも取り組んでいただきこれからが楽しみです。例会出席率アップにもご協力願います。九州・沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会では、長崎同友会の活発な動きをアピールすることができたと思います。他県の皆さんの本気度のすごさに触れることができました。役員は企業づくりをはじめ、会員の皆さんのお手本とならなければなりません。本日はたいへんお疲れ様でした。

※次回日程-7月7日(木) 19:00~つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (6月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
現在	110	86	68	73	57	122	43	25	584

●企業住所等変更

小林 征春 会員 (長崎浦上支部)

新役職名: 代表取締役会長

柿川 良正 会員 (長崎出島支部)

新住所: 〒850-0052 長崎市筑後町3-1

新TEL番号: 095-821-0774

新FAX番号: 095-824-3425

山川 弘幸 会員 (佐世保支部)

新FAX番号: 0956-76-9738

退会者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支 部 名	入会年月
副 島 勝 浩	(株)SOEJIMA	長 崎 出 島	2015年 3月
本 田 順 也	力寿司	島 原	2009年11月